

# 校内研究と運営協議会の組織を連動させ、豊かな学びと育ちを実現！

## 鳥取県南部町

活動名

南部中学校地域協働学校運営協議会

関係する学校

南部中学校

活動区分		※ H26 年度の実績（補助の有無については H27 年度の状況）						
基本データ	土曜日の教育活動	コーディネーター	子供の平均参加人数	開始年度	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
	学校支援地域本部	コーディネーター	ボランティア参加数	開始年度	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
基本データ	放課後子供教室	コーディネーター	子供の平均参加人数	年間開催日数	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
		実施場所			開始年度	放課後児童クラブとの連携		
基本データ	コミュニティ・スクール	指定日			委員数	児童生徒数	学級数	
		平成 21 年 9 月 1 日			11 人	105 人	7 学級	

**活動の概要・経緯**

平成21年9月に中学校では県下初のコミュニティ・スクール指定校となり、地域の教育力を生かした学校づくりに取り組んできた。平成24年度から地域住民や保護者と目指す生徒像を「自律」と「共生」というキーワードで共有し、学校と学校運営協議会が一丸となった学校支援活動を展開している。その活動は、校内研究組織と連動した3つの部会(学習支援部・地域交流部・環境整備部)を基盤とし、PTAや生徒会、地域振興協議会(地域自治組織)とも連携を深めながら、地域に開かれた、信頼され、期待される学校づくりを目指すものとなっている。また、小中一貫教育の視点を取り入れた小中合同のコミュニティ・スクールの取組を進め、より一層の充実を図っている。

### 特徴

#### 【特徴的な活動内容】

- ・「ふれあいデー」…学期に1回地域に出かけて行う貢献活動。地域交流部担当。当初は地域の清掃などのボランティア活動が中心であったが、現在は生徒の願いや主体性を重視するとともに、地域住民とのゲートボールや苔玉づくり、小学校での紙芝居発表、保育園児との交流など、ふれあいを通して学ぶことを大切にしている。
- ・「先輩に学ぶ」講座…町内在住又はゆかりのある方を招いて職業に関する講話を開き、自分の生き方を考える学習を行っている。この講師の人選や依頼を、学校の考えをもとに、学習支援部が行っている。

#### 【実施に当たっての工夫】

『私たちは学校の応援団』を基本姿勢とし、学校教育の理解を深めるとともに、生徒・学校・家庭・地域のつながりを重視し、PTAや住民自治組織である地域振興協議会との連携・協力体制の基盤づくりに取り組みながら、学校の教育活動を支援することを貫いている。運営協議会が活動内容を決めて準備し、それに学校が参加するような形は全くとっていない。委員と教職員が、学期に1回開催する交流会が、①学校が実践しようとする活動を深く理解できる、②何をどう支援するか・支援できるかがわかり十分な準備ができる、③活動のふり返りで成果と課題が明確になり次の活動に生かすことができるなどの成果を生み、充実した活動の基盤となっている。

### 事業を実施して

- ・生徒の活動が学校だけでなく地域に広がり、地域住民との協力・協働が進み、生徒の「自律」と「共生」に向け、町ぐるみで支援する環境ができつつある。また、委員や地域住民が様々な学校の教育活動を支援する中で、生徒の成長を多くの場面で見ることができている。「中学生が変わったね。」という言葉が聞かれるなど、地域住民は生徒の「心の成長」を感じることで、やりがいや役立ち感をもっている。
- ・コミュニティ・スクールの活動を地域に広く知らせるために、コミュニティ・スクールだよりを発行し、校区内の8事業所に置いたり、校区内全戸に回覧したりしている。・3つの部会での活動を校内研究体制と連動させることで、学校評価マネジメントとの関わりも生みだしている。それは、委員が学校運営に参画しているという自覚と責任を持つことにつながっている。

### その他

- ・環境整備部は地域や学校の環境をより良くしようとする態度、母校や郷土を愛する心を育てる活動に取り組み、除草作業や花壇づくりなどを行っている。
- ・小中連携については、課題を共有し共通の目標を持つことを基本として、積極的に校区内小学校の関連組織との連携・協働体制の構築を図るなど、リーダーシップを発揮し、成果をあげている。
- ・コミュニティ・スクールマネジメントに基づき、活動計画や学校評価、次の改善策等の協議をシステム化し、PDCAサイクルを機能させた取組が展開されている。



ふれあいデー（苔玉づくり）



先輩に学ぶ（看護師さん）